



横浜市アマチュア無線 非常通信協力会 南区支部JR1YWH

活動報告

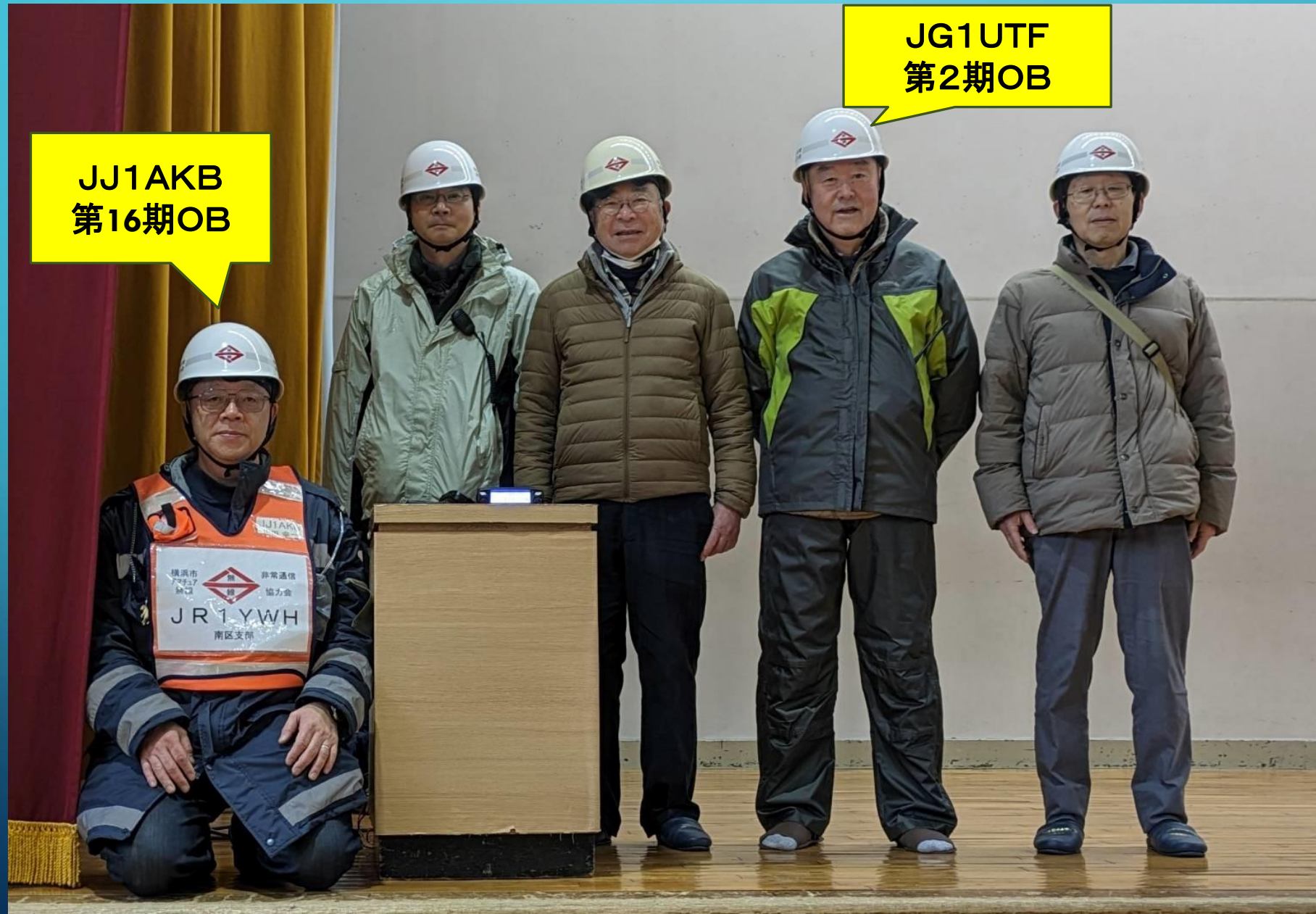
2024年8月10日



令和6年4月現在の
南区の会員数:26人
防災拠点数:25

活動状況

南区内の防災拠点(南ヶ丘中学校)⇔南区役所間
情報受伝達訓練



当日は、雨天のため体育館で実施された。



当日は、5町内約100人が順に見学。南区役所側は、JI1MKAが屋上駐車場からJR1YWHを運用。R/Sレポートの交換や拠点側の参加状況などの情報交換風景を披露した。

2023年11月の市役所⇔区役所間通信訓練 での問題1



無線機やケーブル類
が雑然としていた。
VSWRメーターにつ
いては、個人所有
(JJ1AKB)の物を使用。
送信電力測定時には、
ダミーロードを使用し
た。

2023年11月の市役所⇔区役所間通信訓練 での問題2



144MHz及び430MHz
帯での運用時に、スタンド
マイク(MD-100)
の不具合にて一時通信不
能状態となった。
2024年7月現在も状況は、
変わらず。

2023年11月の市役所⇔区役所間通信訓練 での問題3



1200MHz用
ID-1のハンド
マイク
カールコードの
経年劣化による
破損
(仮復旧済み)

他都市のアマチュア無線非常時協力体制1



山梨県の場合
JARL山梨県支部の地域登録クラブ個々での協力のようであった。

他都市のアマチュア無線非常時協力体制2



千葉県船橋市の場合
山梨県と同様に地域クラブが貢献していた。
船橋市長からの表彰状(感謝状)が展示されていた。

まとめ

- 飛鳥田市長時代の当会発足より約半世紀の歴史を持つ協会のこれからも横浜市との密接な関係を維持しつつ無線設備の速やかな更新や修理を

忌憚なく話せる様にしていく事が重要と考えられる。

また、会員の高齢化が進む昨今、若い会員の増強を図るための策を考えなければならない。

会員の技術向上のためのセミナーも以前にも増して行い、市へのアピールとして活用する。

他都市の同様なアマチュア無線団体(クラブ)との交流を活発にして、情報交換を行う。

以上、ご清聴有難う御座いました。